

## 1. 9月全国行事

|                   |             |
|-------------------|-------------|
| 1)防災の日            | 9月1日        |
| 2)秋の全国交通安全運動      | 9月21日～30日   |
| 3)全国労働衛生週間準備月間    | 9月1日～9月30日  |
| 4)全国作業環境測定・評価推進運動 | 9月1日～9月30日  |
| 5)環境衛生週間          | 9月24日～10月1日 |
| 6)健康増進普及月間        | 9月1日～9月30日  |
| 7)心とからだの健康推進運動    | 9月1日～9月30日  |

## 2. 安全・衛生・防災の心得：要注意！ 暑い時期のヒューマンエラー

## 3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

## 4. 当社の事故・災害事例から：高温薬液の飛散による火傷

## 5. ヒヤリハット事例：台車使用時の危険性

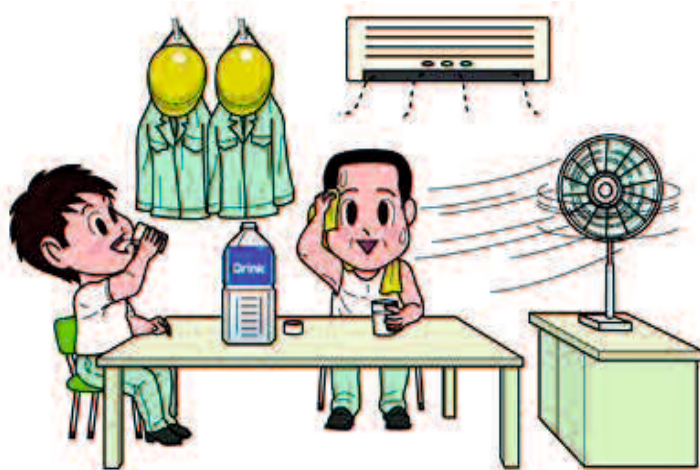
## 2. 安全・衛生・防災の心得：要注意！ 暑い時期のヒューマンエラー

夏期は不注意によるミス(ヒューマンエラー)を起こしやすいと言われています。

その理由として、暑さによる身体の疲労や睡眠不足、高温・多湿の作業環境、喚起不良による空気環境の悪化、お盆休みや夏期休暇などによる生活リズムの変調など、ヒューマンエラーを誘発する要件が揃っています。

事故や災害の原因になる不注意やミスは、特に次のような状態のときに発生しがちです。注意しましょう。

- ①作業が切迫しているとき 作業を急ぐとき非常事態や緊急事態が発生したとき、など。
  - ②作業が単純すぎるとき 同じ動作を反復・くり返しているようなとき、など。
  - ③作業が複雑すぎるとき 本人の作業能力を越えて複雑な手順だったりするとき、など。
  - ④作業場の雰囲気がルーズなとき 現場での作業の指示の仕方や処理の仕方がその都度違っているとき、など。
  - ⑤邪魔が入ったとき 一定の手順通りに作業をしているときに、別の用事を言いつけられたとき、など。
  - ⑥平常のときと状況が変わったとき 工程を変更するよう急に指示されたとき、など。
  - ⑦状態があいまいなとき 対象物の状態が不明確だったり、作業の指示や合図が不明確、不明瞭なとき、など。
- 心身の夏バテ→注意や意欲の喪失につながります。メリハリを意識しましょう。



### 3. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

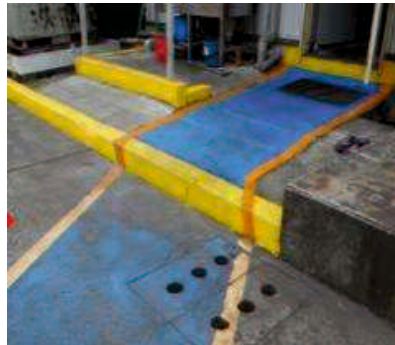
#### ①関東技術センター宇都宮G

GHSマーカー一覧表を表示し  
危険有害性を明確にしている



#### ②福山工場

色分けにより段差の  
注意喚起をしている



### 4. 当社の事故・災害事例から：高温薬液の飛散による火傷

平成1年6月12日

#### (1)災害のあらまし

- ①化成工場リン酸亜鉛化成槽で
- ②液面調整のため水中ポンプで液抜き作業中
- ③水中ポンプのホースが外れ、薬液が右腕にかかり
- ④高温の薬液により火傷した

#### (2)被災程度 右腕火傷 不休 全治7日間

#### (3)原因、問題点及び再発防止策（一部追加）

- 1)人的要因：急いでおりルール違反した(高温薬液の水中ポンプ使用は危険なため禁止されていた)  
→手順、ルールを守することは絶対です。何があっても順守しましょう
- 2)物的要因：ホースの固定不備(番線による止めのみ)  
→ボールタップや抜け防止カプラー等安全確実なものを使用下さい
- 3)管理的要因：禁止事項のルール徹底の教育が不十分だった  
→安全教育やTBM等でルールの重要性について教育を徹底して下さい

#### (4)環境安全部から

- ①非定常作業として認識し、リスクアセスメント、KYTを作業前に必ず実施して下さい
- ②薬液飛散は他のケースでも考えられるので、作業時は危険を想定した保護具等の着用を義務付けて下さい
- ③不安全作業を見つけた場合、作業責任者はもちろん作業者間による相互注意を行って下さい

### 5. ヒヤリハット事例：台車使用時の危険性

|       |                                                   |
|-------|---------------------------------------------------|
| 事例    | あわや台車に乗せた製品が転倒                                    |
| どこで   | 工場内の通路で                                           |
| あらまし  | 台車の上に製品を載せて移動中に、段差で台車が引っかったため製品がバランスを失い、転倒しそうになった |
| 原因    | 通路の段差に気づかず、そのまま通行しようとしたこと                         |
| 教訓・対策 | 台車使用時には段差や通路表面状態を確認しながら通行する                       |